

## 「おかやましんきんSDGsアワード2023」 OHKの情報アクセシビリティ推進活動が入賞

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井2-10-12 以下OHK）は、持続可能な開発目標SDGsの達成に向けた活動を積極的に行っている企業や個人を表彰する「おかやましんきんSDGsアワード」に応募、OHKが取り組む情報アクセシビリティ推進に関する活動が入賞しました。

このアワードはおかやま信用金庫（岡山市北区柳町）が2020年から毎年行っているもので、2023年は83の企業や個人から応募があった中から26が選ばれました。募集部門は「ビジネス部門」「社会貢献団体・一般個人部門」「スクール部門」の3部門で、新規性や持続性、独自性、社会へのインパクトなどについて、岡山市職員や県内の大学教授などが総合的に評価しました。

OHKは「経済的に持続可能な福祉（情報アクセシビリティ）の追求」としてビジネス部門に応募。手話ワイドにスポンサーを募るなどして持続可能な手話放送を目指す「岡山モデル」、手話・字幕・音声で情報を伝えるユニバーサル対応システムの「シュワQ」や「ユニバーサルCM」の制作・放送など、ビジネスにつながる様々な取り組みを通じて“ボランティアの福祉からの脱却”を目指す取り組みが評価されました。

受賞理由について主催者や審査員からは、『テレビという公共性の高いメディアを通して手話放送を継続し、通訳者やろう者などの当事者だけでなく、広く一般にも手話の存在を広めた意義は大きい。さらに、手話のスポンサー表示はじめ、ビジネスの観点からもそれを持続可能にしていることが高い評価に値する』とコメントが寄せられました。

OHKは「情報から誰一人取り残されない」社会の実現を目指し、今後も情報アクセシビリティの向上を目指す取り組みを進めてまいります。